

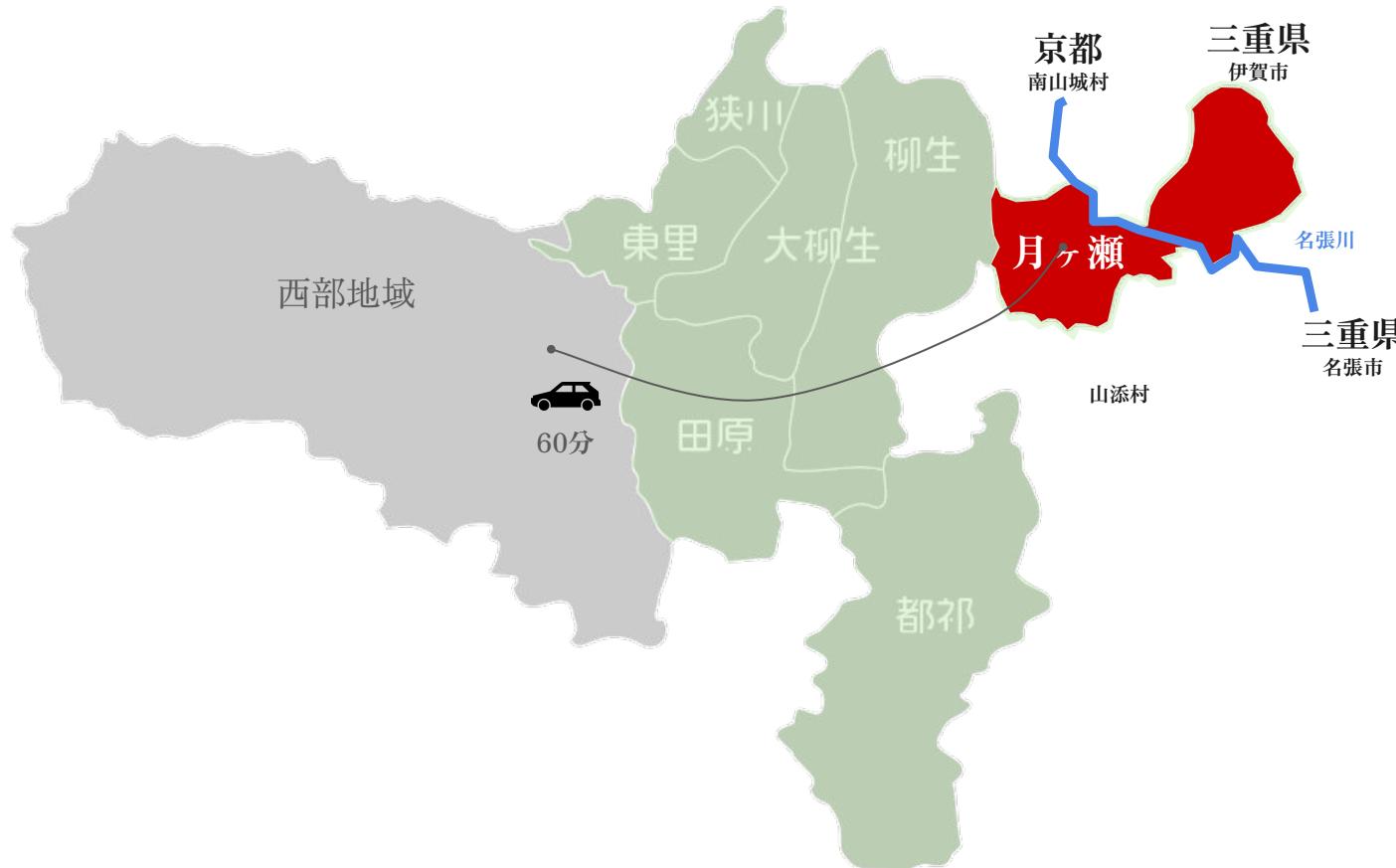
自治と共助による持続可能なまちづくり Local Coop 大和高原プロジェクト



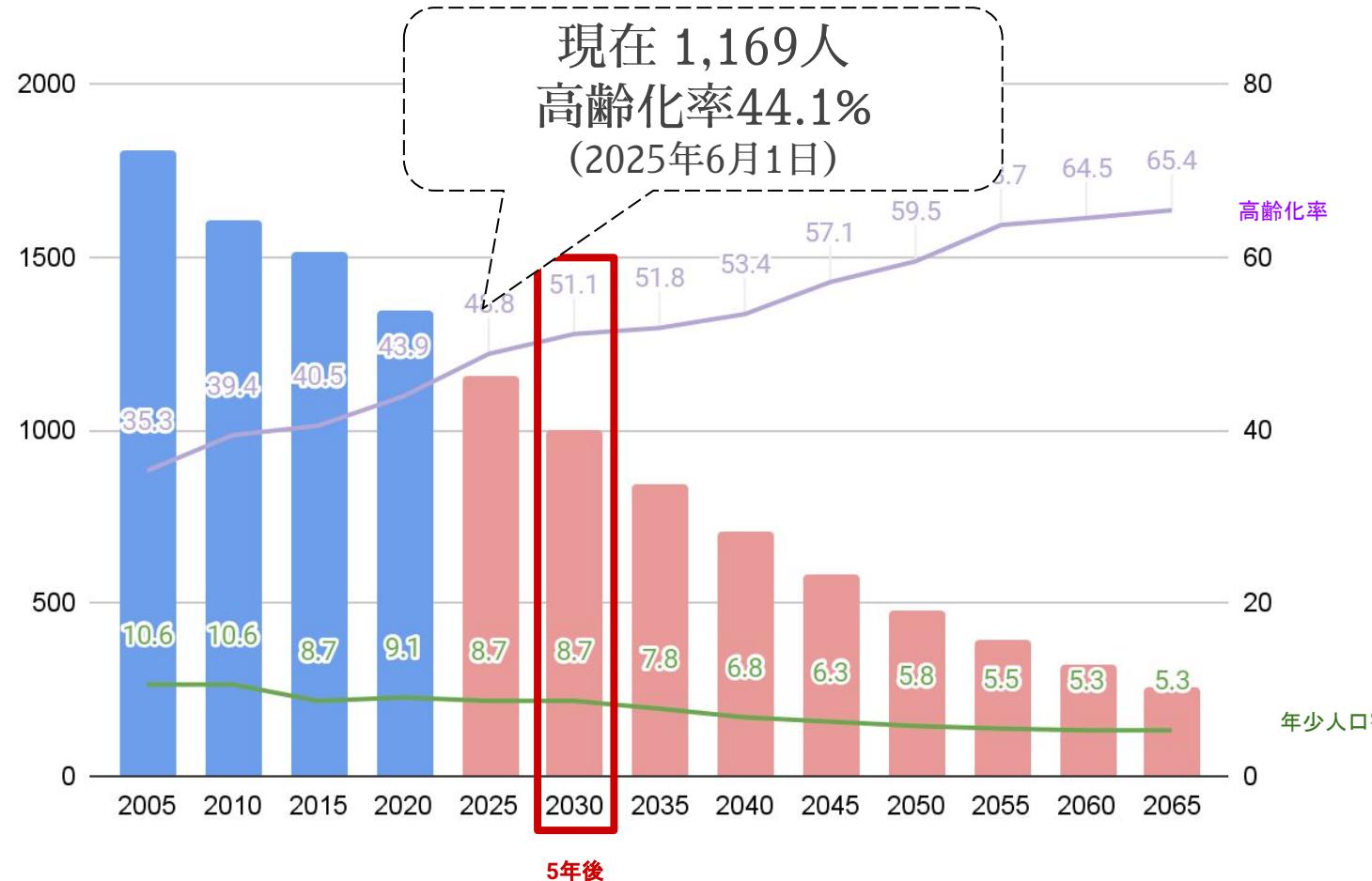
奈良市月ヶ瀬地域（旧月ヶ瀬村）

月ヶ瀬地域

東部地域 = 大和高原



月ヶ瀬の将来推計人口



月ヶ瀬の現状

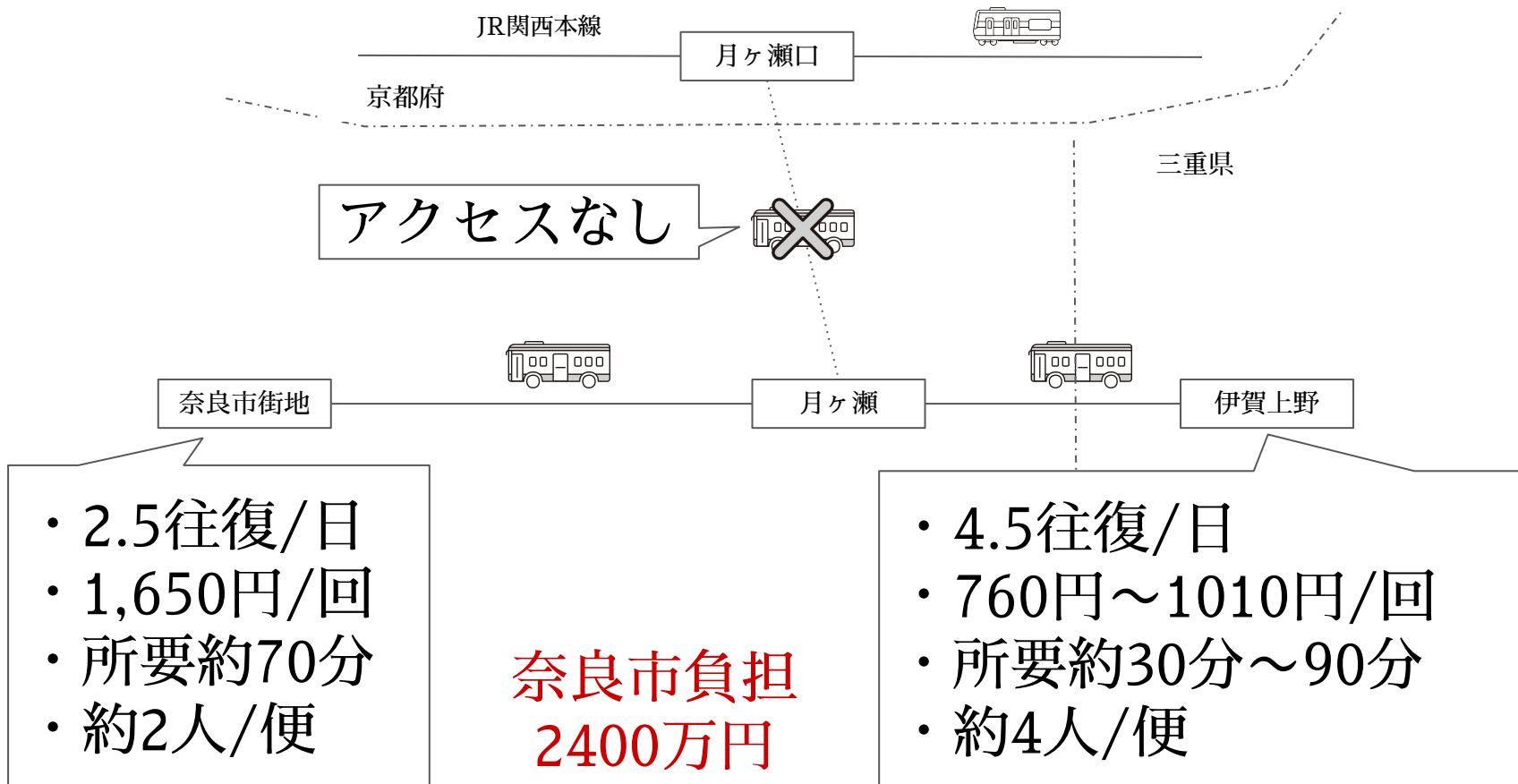
飲食料品小売業 2004年13 (従業者数35) ► 現在 3
スーパー・コンビニ無し

空き家率 2015年5.61% ► 2019年22.55%
4軒に1軒が空き家

総農家数 2010年212 ► 2020年166
約2割減

経営耕地面積 2010年310ha ► 2020年226ha
約3割減

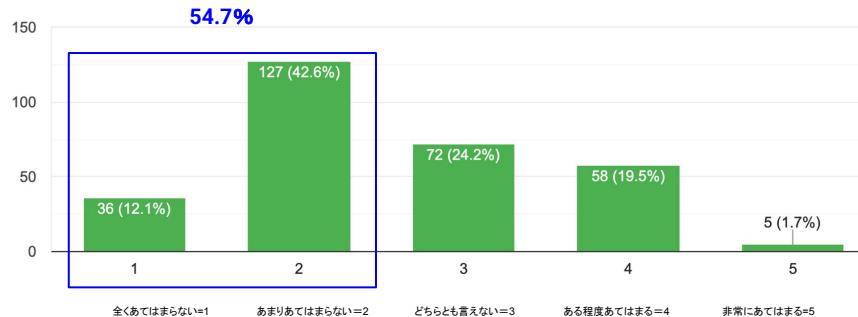
脆弱な公共交通



幸福度アンケート

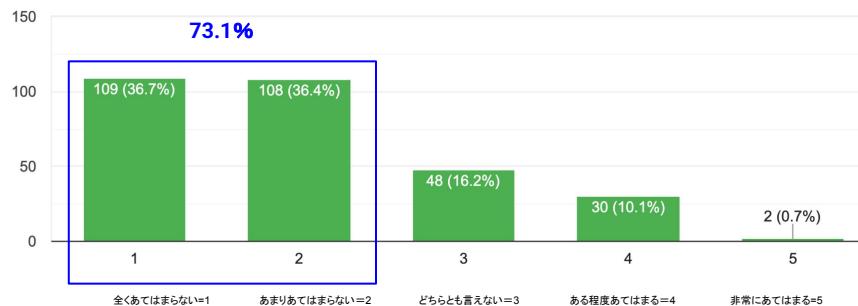
5. むらしている地域は、医療機関が充実している（医療・福祉）

298 件の回答



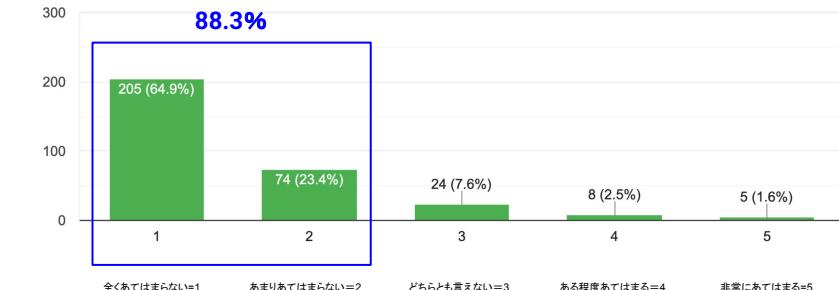
7. むらしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない（買物・飲食）

297 件の回答



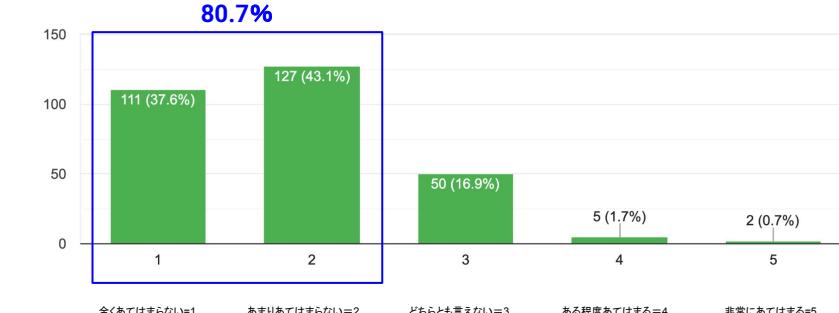
12. 私の暮らしている地域では、公共交通機関...時に好きなところへ移動ができる（移動・交通）

316 件の回答



4.8. 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい（雇用・所得）

295 件の回答



















100年後も暮らせる
月ヶ瀬をつくる

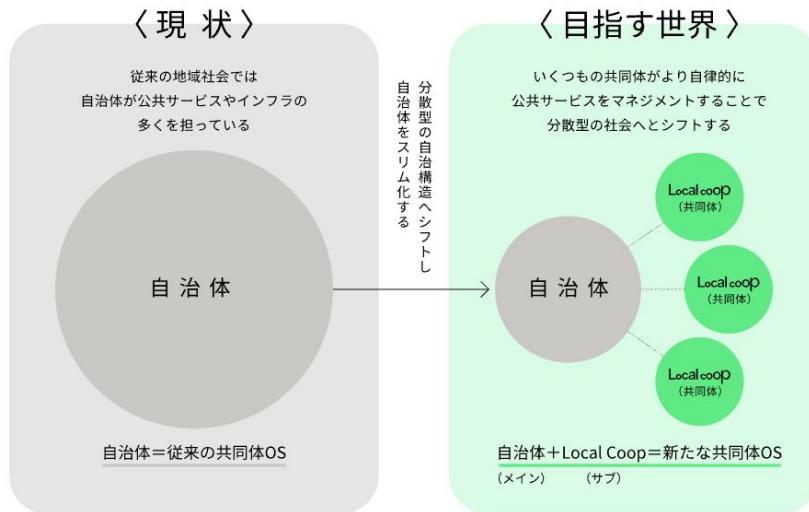
Local Coop大和高原プロジェクト

自治の再構築と
共助の仕組みの実装に取り組み、
環境・社会・文化・経済が維持され、
心豊かで生活全体の満足感がある暮らし
ができる新たな共同体OSの構築

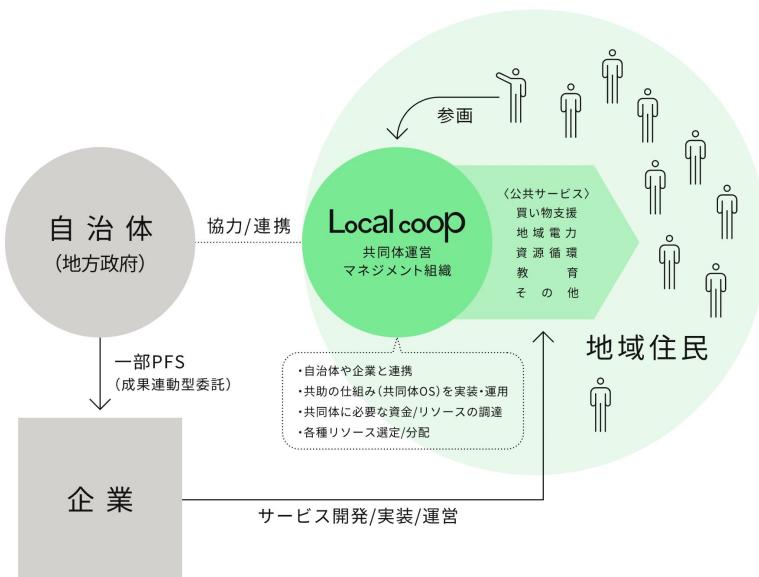


LocalCoopのポイント

自治の再構築



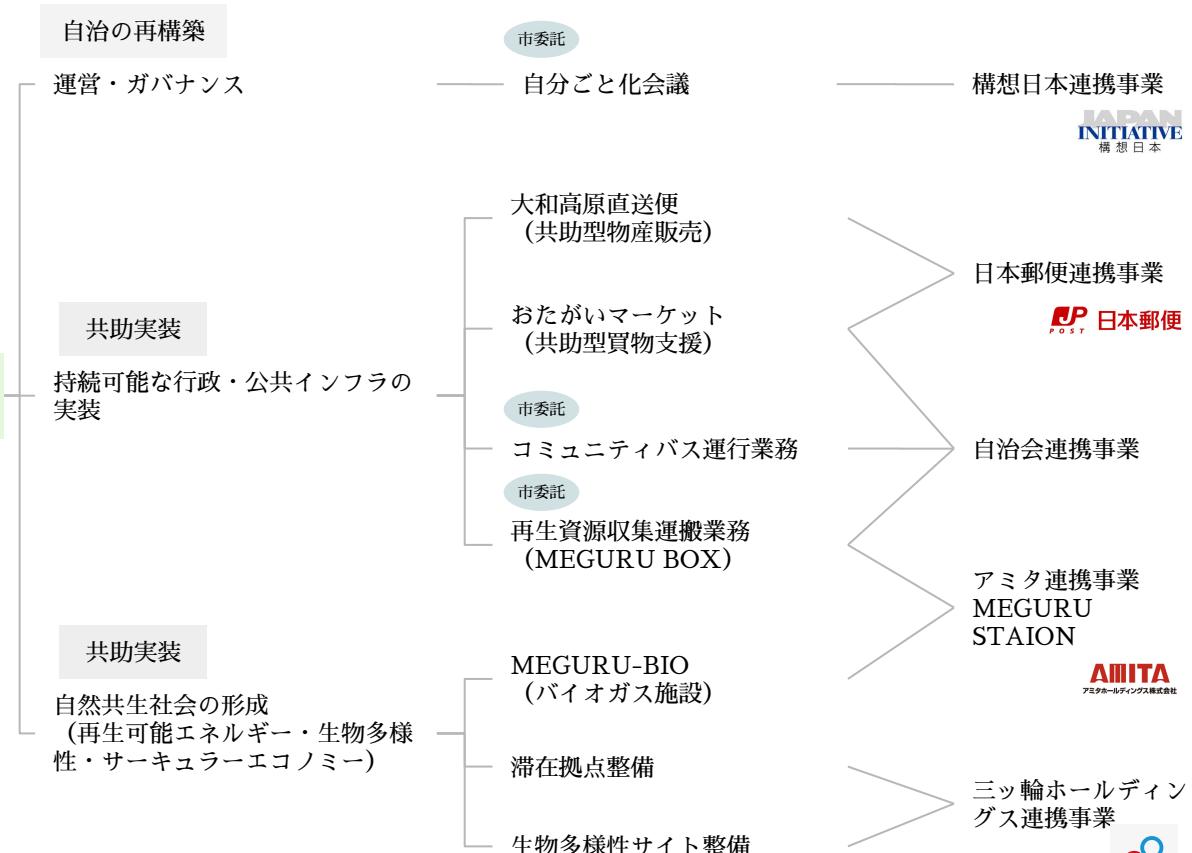
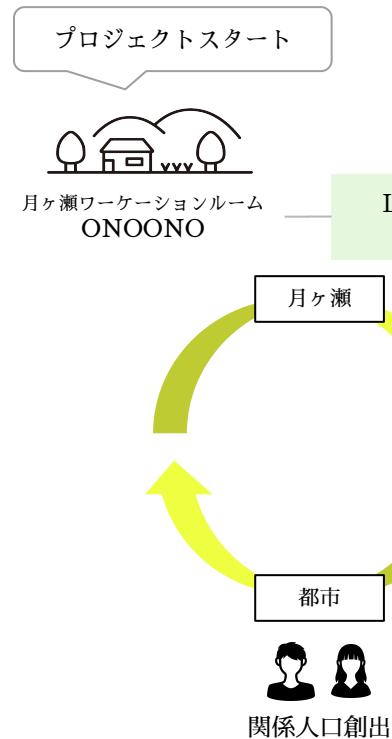
共助の仕組みづくり



LocalCoopの体制



事業展開



取組內容

生物多様性

新潟中学校 ガーデン

【排水設備を備えた石畳】



【生物多様性に配慮した庭】



坂田昌子
環境NGO慶十の会
代表／一般社団法
人コモンフォレス
ト・ジャパン理事



あ、ここなら畠が受けられるね

再生資源収集運搬

今まで

現在

36箇所の収集所 →

6箇所

1ヵ月に1度
決められた日の朝 →

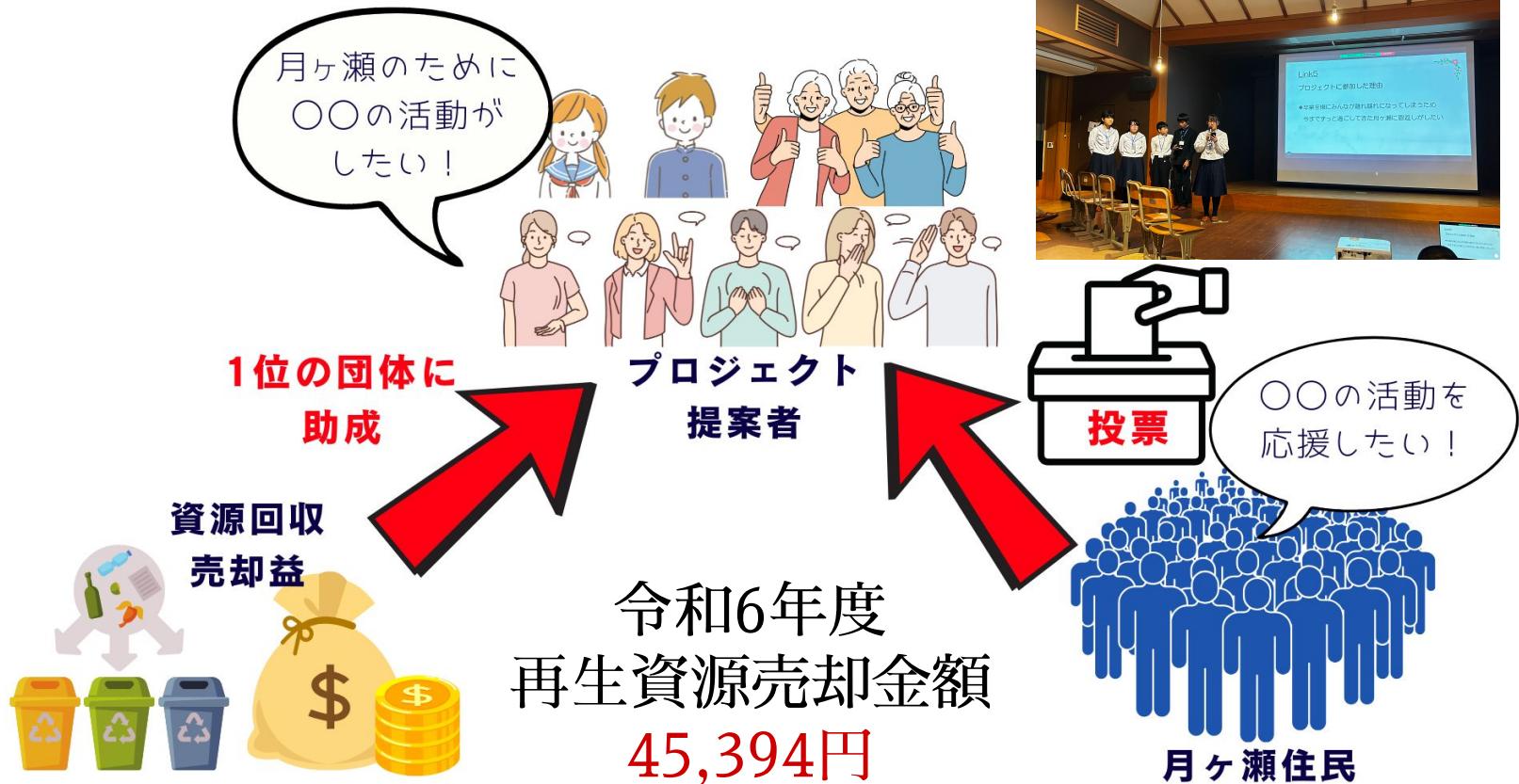
24時間365日

奈良市的一般財源 →

地域住民が運営
し、その収益を地
域に還元



再生資源の売却×自治



住民コメント

『議会のない月ヶ瀬にとっての選挙のようなもので、これが根付いて広がってほしい。良い取り組みをしてくれた。地域のこと全てがこの仕組みに乗ると良いのに。』

『このプロジェクトに参加できたことで、私たちの過ごしている月ヶ瀬の課題を発見できただけでなく、月ヶ瀬のいいところをたくさん再確認できました。私たちが中学生という立場でこのプロジェクトに参加することによって、幅広い年齢の人が月ヶ瀬に興味関心を抱き地域が活性化されることを願います。』



奈良市
**Old History,
New Discovery.**